
私の大きな空

大輔華子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の大きな空

【Nコード】

N3894J

【作者名】

大輔華子

【あらすじ】

大きな空に感謝。そしてちょっと『想い出ぼろぼろ』な話かな。

小学三年生するとき、私は初めて家族と一緒に旅客機に乗りました。

ロケットのようにくぐつと飛び発って、それからすぐに鳥のように斜めになってぐうんと回った飛行機。

そのあとしばらく私は一人で窓にへばりついて、景色を独り占めしていました。

いつのまにか窓の外は白く輝く雲の上、一面に広がる別世界の中で、私の目は一つだけ孤独に雲の上に座っている小さな『もの』に釘付けになりました。

「富士山だ！」

ぽつかりと頭をのぞかせています。

下から見るととっても雄々しい富士山。いつも威張ってまわりを見下ろしている

大きな富士山。

でも雲の上ではひとりぼっち。雲の端の端まで他には何も見えません。私は、そんな富士山に意味もなく手を振りながら、しばらくその姿を見ていました。

「おつい。君はまだまだ小さいなあ。」

そう。『空』はいつでもきつとそんなことを言いながら、小さな富士山を見ていたのね。

田舎に着いてから、私たち家族は連なった峰々の見える山間やまあいのみかん畑にいました。

下のほうを流れる川。かすかに聞こえる流れの音。

突然、空から大粒の雨が落ちてきました。でも、私たちの住んでいる町のようにザーザーぴちゃぴちゃ嫌な音がしません。

サーサーと土にしみ込む音がするばかりです。

うちのおばあちゃんも、下の家のおばあちゃんも、みんなせかせかと歩いていきます。でも傘をさす人は一人もいません。

サーサーと次々に土へしみ込んでいく雨水。

「喉が渴いていたんだろう。おいしいかい？」

そう。『空』はいつでもそんなことを言いながら、畑を見下ろしていたのね。

次の日の夜、私は田舎の家の縁側に座って、従兄の翔くんと並んで目の前一杯に広がる星を見上げていました。

目の前に今にも降ってきてそうな星。

翔くんが教えてくれました。

「あの明るい星がシリウスだよ。」

「どこどこ？星ばかりで、どれがどれだか全然わかんない。」

「あそこの一番明るい星。」

「あれ？」

翔くんは頷いて、「太陽より大きいんだよ。倍くらい。でも遠くにあるから小さく見える。遠過ぎて光が届くのに時間がかかるから、今見ているあの星は、華ちゃんが生まれた頃の姿なんだよ。」

「えー？そんなに？じゃあ、あっちの星は？あの少し赤い星。」

「ははは。星ばかりで、どれがどれだか全然わかんないよーっだ。」

「あー、いじわるなんだー。」

私の心は、翔くんを連れて、空の向こうのまた向こう、大きな空に

飛んで行きました。

あれから四半世紀。

大人になっても永遠に『空』は私の憧れ。

あなたは大きくて、しかもいつでもとっってもやさしい。

私は、気が付くと、飛び発つ旅客機の窓にまるで子供のように貼りついていました。そういえばあの時、初めて旅客機に乗った時と似ているけど、今はまるで『逆』。

今度は一人、田舎の風景を背に飛び発つ私。

私はふつと感じました。

あの時と同じ空が、時を超えて、私の乗った飛行機をやさしくやさしく包んでくれている。

ありがとう。私の大きな空。

みかん畑がみるみる下に遠ざかって行き、白く輝く雲があたり一面を覆って、すぐに別世界になりました。

翔くん。結婚おめでとう。

とっても可愛くて綺麗なお嫁さん。

幸せ一杯、うれしそうな翔くん。

私の心には、いつも大きな空と、翔くん、そう、あなたが居たのね。

幸せになってね。翔くん。

私、あなたの幸せを願っている。いつまでも。（『私の大きな空』
平成22年1月）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3894j/>

私の大きな空

2011年1月3日22時35分発行